

第4節 健やかで心豊かに暮らせるまち

5 スポーツ・レクリエーション

～市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

<A 基本計画の目標>

子どもから高齢者までが身近なところで、生涯にわたってそれぞれのライフステージや健康状態に応じて楽しむことができる市民スポーツを振興します。また、そのための活動場所を充実します。

海、山など自然とふれあい、自然環境の保全と調和について理解を深めながら行うことができるスポーツの振興を図ります。

多様なニーズに対応できる体制づくりや公式競技開催が可能な施設整備を積極的に進めるとともに、施設の広域利用をはじめとしたスポーツに関する多様な情報をネットワーク化し、スポーツを身近なものとしていきます。

活動団体への指導・援助や、地域における指導者の養成と資質向上により、スポーツに対する多様な要望にこたえとともに、健康状態にあったスポーツができるよう、推進体制を整備していきます。

<B 目標指標：市民意識調査による市民の満足度>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	トレンド
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合	38.4 %	27.3 %	41.9 %	37.6 %	40.2 %	↗

<C 目標達成に向けた22年度の実績と自己評価>

自己評価

【生涯学習部】

<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>スポーツ施設の整備に向けて、平成21年度に引き続き、市民、関係スポーツ団体の代表及び学識経験を有する者からなるスポーツ施設整備懇話会を開催し活発な意見交換を行いました。</p> <p>利用者が自宅のパソコン等から利用予約や空き状況照会などができる公共施設利用予約システムの更新を行い、利用者側の機能に便利な機能の追加や利用可能なOSの追加による利用環境の拡大等を行いました。</p>	◎
<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>スポーツ施設の指定管理者とは、モニタリング以外に、定期的に連絡調整会議を開催し、利用者サービスの向上のために、現状や問題点を共通認識し、調整を図りました。</p> <p>駐車場のない見田記念体育館の利用者が、鎌倉体育館駐車場を利用することを可能とし、これにかかる手続きを整理しました。</p>	◎
<p>※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)</p> <p>指定管理者制度導入後、鎌倉体育館のトレーニング室にトレーナーが常駐しており、利用者のニーズに合ったメニューの提供がなされ利用者から好評を得ています。</p> <p>地域の求めに応じて、自治町内会館などに出向いて、高齢者対象の体操教室等を開催しました。</p> <p>また、子どもの基礎体力づくりを目的として材木座海岸で実施した砂浜でかけっ子では、毎回多数の親子の参加がありました。地域の高齢者を中心とする住民からのサポートも受け、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化に寄与しました。</p>	◎

前年度当初目標に対し、◎＝80%以上○＝50%以上△＝30%以上×＝30%未満

<D 前回の市民評価委員会などからの指摘への対応状況>

市民評価委員会などからの指摘

指摘等に対する改善策・対応など

【生涯学習部】

<p>・スポーツ・レクリエーションを十分に楽しむことのできる空間が定常的に不足している。スポーツ施設の整備に当たっては、周辺都市と市との連携のなかで検討していくことも必要か。</p>	⇒	<p>グラウンド及び体育館の周辺都市との連携については、3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)の間でスポーツ施設の広域利用についての検討会を行いました。この利用については相互利用の考え方が基本であることから、本市のみが他都市の施設を利用することはできません。なお、鎌倉海浜公園水泳プール及びこもれび山崎温水プールについては協定を締結し、すでに相互利用を行っています。</p>
<p>・市民ニーズとして、ハイキングコースの整備(トイレ、休憩所、眺望がよいところの樹の剪定)や坂ノ下・プール付近の充実、笛田・テニスコートの充実等期待は大きい。各年代に合ったスポーツを提供、指導して行く事も大切。</p>		<p>鎌倉海浜公園水泳プールについては、今後整備計画を検討することになった場合にその機能の充実について検討していきます。 また、各年代に合ったスポーツの提供及び指導については、例えば子どものスポーツは子どもの基礎体力向上を目的とした砂浜でかけっ子など、高齢者に対しては高齢者筋力トレーニングや、地域からのニーズにより自治会館等に向向高齢者の体操教室など、幅広いニーズに対応したメニューを提供しました。</p>
<p>・スポーツ施設の指定管理者とはモニタリング以外に、定期的に連絡調整会議を開催し調整を図っているとの事だが、具体的に改善に取り組んだ問題を表記していただければ、より実績が表れ、評価が行いやすくなる。</p>		<p>駐車場のない見田記念体育館の利用者が、鎌倉体育館駐車場を利用することを可能としました。 鎌倉体育館トレーニング室の日照調整のため窓ガラスに遮光フィルムを貼付しました。</p>

<E 22年度未達成事業の課題・問題点など>

【生涯学習部】

<p>スポーツ施設建設基金の新規積立。</p>
<p>※未達成の理由<支障となった理由> 財政事情による。</p>

<F 今後の展開(取組方針)>

【生涯学習部】

<p>スポーツ施設の整備に向けて適地の調査、スポーツ施設以外の既存施設の上部利用の検討に努めます。</p> <p>指定管理者制度を導入したスポーツ施設について、円滑な管理運営が遂行されるよう適切にモニタリング等を行うとともに、利用者サービスが向上するよう指定管理者と協議調整を図ります。</p> <p>市民ニーズを把握し、誰もが気軽に運動やスポーツに取り組める環境の整備を図ります。</p>

<G 実績指標：事業ごとの進捗を示す代表的な指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	H22年度 目標値	H27年度 目標値
スポーツ施設の利用者数(+)	スポーツ施設(鎌倉・大船・見田記念体育館、鎌倉武道館、海浜公園水泳プール等)の年間利用者数の合計	431,283 人	487,709 人	460,690 人	496,279 人	482,890 人	470,000 人	475,000 人
日常スポーツ実践率(+)	1回30分以上の運動を週1回以上行っている市民の割合	47.1 %	42.2 %	49.5 %	51.4 %	49 %	54 %	54 %

<H 事業コスト総額>

分野別事業費		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	決算値 (A)	374,380千円	298,092千円	261,853千円					
	(国・県)	8,890千円	9,066千円	9,250千円					
	(負担金等)	16,024千円	20,045千円	20,680千円					
	(一般財源)	349,466千円	268,981千円	231,923千円					
	人員配置数	9.0人	8.0人	7.0人					
	人件費 (B)	78,450千円	71,530千円	61,747千円					
	総事業費(A+B)	452,830千円	369,622千円	323,600千円					
	対前年比		81.6%	87.5%					

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・スポーツ施設の指定管理者との定期的に連絡調整会議による現状や問題点の共有や、鎌倉体育館のトレーニング室のトレーナー常駐による利用者のニーズに合ったメニューの提供等、利用者の要望を把握し、対応していこうといった姿勢は大変評価できる。
- ・公共施設利用予約システムの更新で利用環境が拡大した。



課題・提言

- ・スポーツ・レクリエーションを十分に楽しむことのできる空間が定常的に不足している。
- ・グラウンドの確保などが難しくなっている。スポーツ施設の整備に当たっては、周辺都市との連携のなかで検討していくことが求められる。
- ・スポーツ施設を増やすことは土地の制約上難しいため、利用できる時間帯を増やす検討をしてほしい。